

見学地：香川県香川郡直島町

見学日：平成28年10月25日(火)

見学先：直島ホール・本村地区家プロジェクト・直島環境センター

10月25日高松港県営第二棧橋に8時45分集合でしたが、遅刻者無しで14名の参加となりました。天候にも恵まれ、9時にチャーター船にて直島本村港へ出発となりました。湾内は波もなく快適でしたが、湾外に出ると少し波が高くチャーター船の窓に時折波しぶきがかかってきました。

9時45分直島本村港に到着後、徒歩にて直島町役場の南面にある直島ホールに向かいました。直島ホールは設計が三部一博建築設計事務所、施工は鹿島建設でした。

(敷地面積3,096.06㎡、建築面積1,269.82㎡、延床面積1,272.86㎡、地上1階)
当ホールは体育館、島の伝統芸能である直島女文楽の公演などに使われているそうです。その他、地元の人が集まるための集会所、庭園があります。又、高潮対策のため周囲を盛り土で覆い、苔で覆うことによって土中の保水量の維持と直接の日射の影響を抑え、地中の安定した温度を室内の温熱環境の調整に活用しているエコな建物でした。少し不便さを除けば快適な空間を作っている建物でした。但し、個室はより良い環境作りのため、エアコンが設置されていました。建物内の土間に井戸用手押しポンプ（ステンレス製）が設置されていました。昔を懐かしく思い水を出している者が数名おりました。

直島ホール見学後、近隣にある家プロジェクト「はいしゃ、角屋、護王神社等」を見学しました。どのプロジェクトも何の芸術か、さっぱり分かりませんでした（私だけなのでしょう）

11時30分本村港に集合後、再びチャーター船にて宮浦港へ向かいました。

宮浦港に12時前に到着し、徒歩にて昼食場所である「へんこつ苑」へ直行しました。当食堂は貸切となっていました。お腹がすいていた以上おいしい食事を頂きました。昼食後は、各自自由行動で、赤いかぼちゃ、007「赤い刺青の男」記念館等を見学しました。平日にも関わらず観光客が多く、特に外国の人が多く見受けられました。

14時10分発直島環境センター行きバスに乗りこみ、現地へと向かいました。豊島産業廃棄物等中間処理施設は三菱マテリアル直島製錬所の敷地内に建てられた施設であります。施設内でビデオ20分、概要説明5分の後、施設内を見学しました。

当施設の目的は、昨年見学した土庄町豊島に不法投棄された産業廃棄物等を処理するためです。溶融処理に伴って発生する飛灰やスラグなどの副生物を再資源化し有効利用するほか、プラント排水や雨水を再利用するなど、完全循環型の施設となっています。又、鉄の塊や岩石の表面などに付着した可燃物などを焼却するため、ロータリーキルン炉を1基設置しています。溶融処理に伴って発生する飛灰については、隣接する三菱マテリアル直島精錬所で有価金属を回収し、スラグに「についてはコンクリート用骨材等の土木材料に再利用しているそうです。当処理施設は処理対象量が増加したため、来年度まで延長されますが、その後の運用は決まっていないようですが、当施設が再び運用されることが無い環境づくりが必要と感じました。

町営バスに乗り再び宮浦港に到着、16時チャーター船にて宮浦港を出発しました。

17時高松港県営第二棧橋に到着、ごみの無い社会がどんなにいいものかと感じつつ解散となりました。皆様おつかれさまでした。

以上

